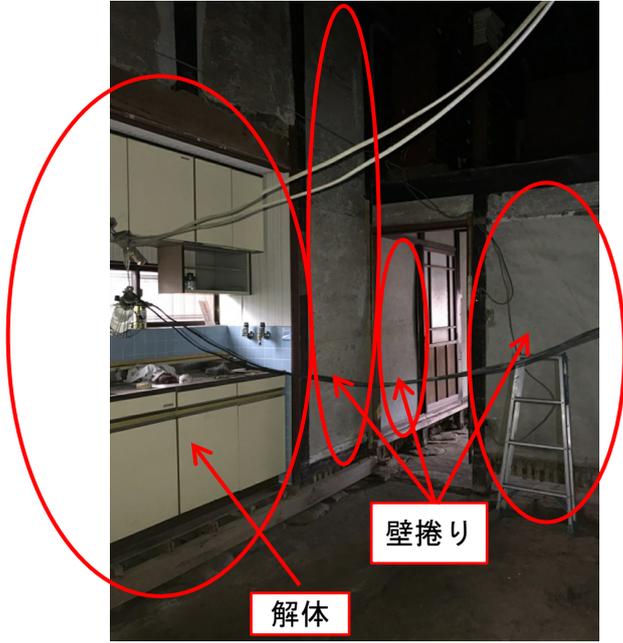


大村家住宅 30年度工事報告書

工 事 箇 所 市文化財 大村家住宅 平成30年度修理工事

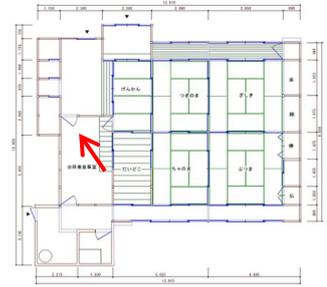
作 成 者 株式会社 鈴木古建築 鈴木大祐



台所兼食事室解体前

出キッチンを解体する

塗り重なられた土壁をめくる



台所兼食事室解体

キッチンの解体し梁を取り、柱を伸ばす。



台所兼食事室復元

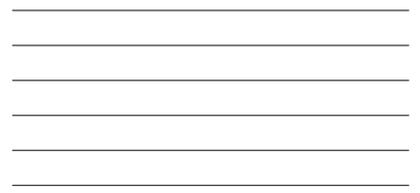
金輪継ぎで柱を繋ぐ
うち1っ本は補強の意味で
新しい柱に変える





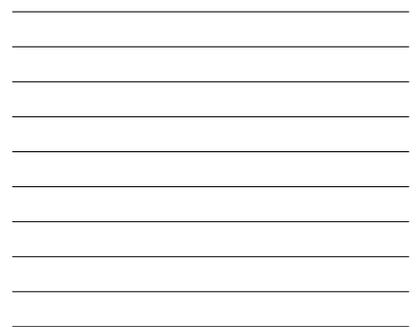
台所兼食事室復元

土壁下地に竹小舞です



台所兼食事室復元

本来は外部は大壁使用だった為、縦地は外に打ち柱まで土を塗り重ねてあったが、今回の壁仕様が焼き板壁仕上げの為、下地が打てない為真壁収めにする。



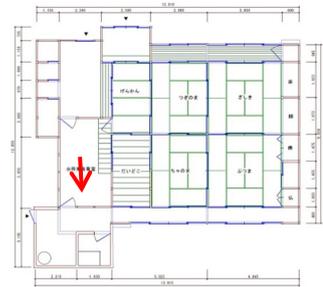
台所兼食事室復元

前回の改修工事で切断され用をなさない筋違いを撤去し、同じく切られた柱を金輪で繋ぐ



台所兼食事室復元

壁下地
竹小舞



台所兼食事室復元

前回の改修工事で切断され
用をなさない筋違いを撤去し、
膨れ上がった土壁を捲り、
当初の下地を生かし貫や傷ん
だ竹を交換し下地を直す



台所兼食事室復元

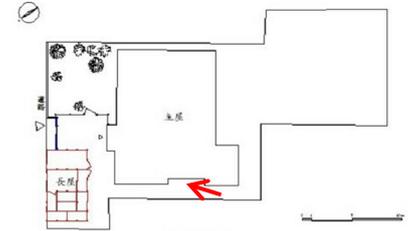
落ちかけた土壁を捲り、当
初の下地を生かし貫や傷ん
だ竹を交換し下地を直す





台所兼食事室外壁

キッチン裏の復元壁
土返し抑え塗り



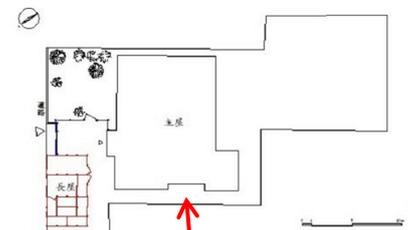
台所兼食事室外壁

壁下地塗り
当初の壁下地直し
当初の漆喰壁に2回の焼き板張りをしていた。



台所兼食事室外壁

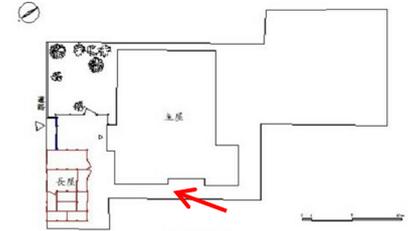
新しい壁を傷めない様に焼き板壁の下地をする





台所兼食事室外壁

現状壁に合わせて焼き板を貼る



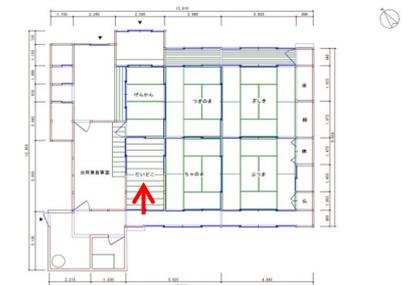
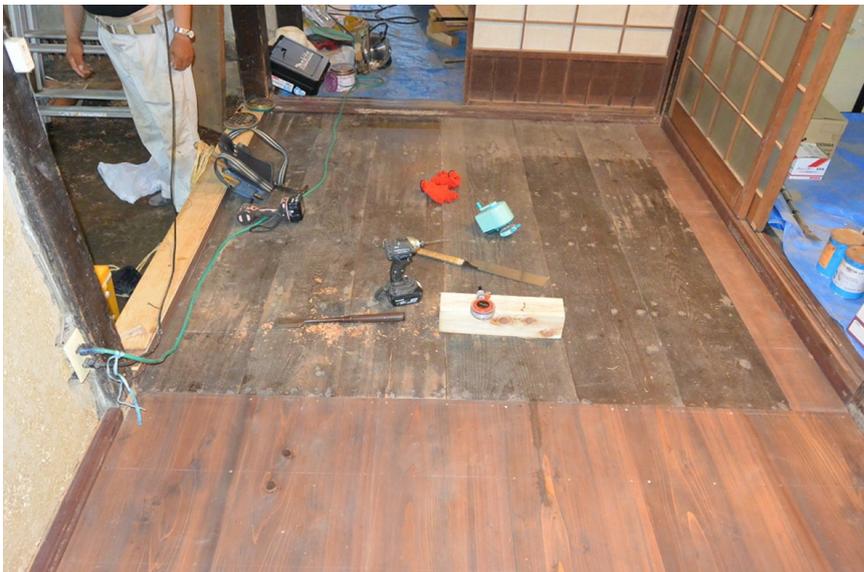
だいどこ床

前回の修理で床は変えてあったので、シロアリと板床に変える為床を新規にやり替える



だいどこ床

べんかん畳下に使われていた床板をだいどこ板に貼り、足りない分は新規に足す



げんかん

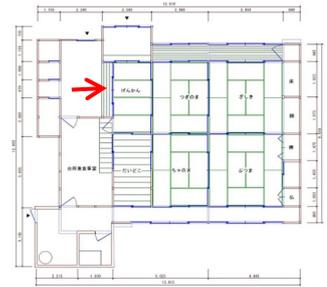
土間境を当初の位置に戻し、上がり床を作る



げんかん

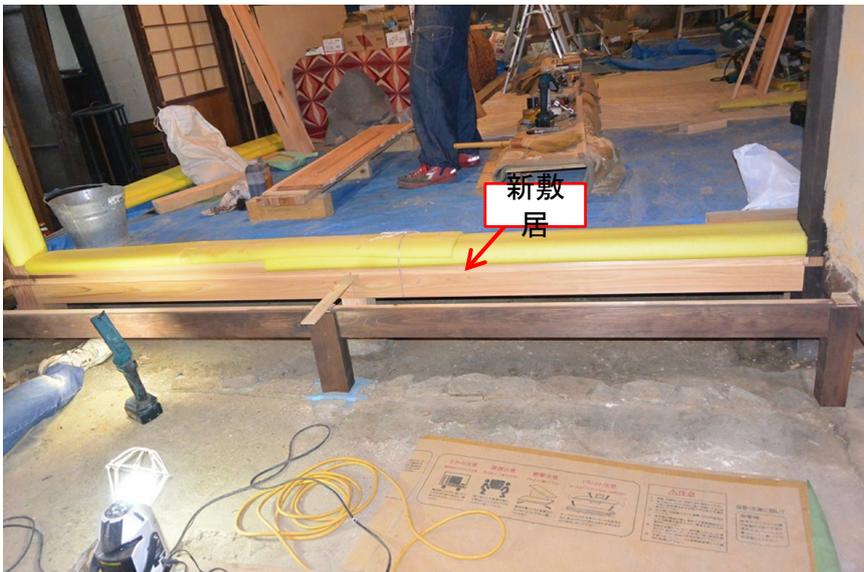
当初柱を本の位置に戻す事は今回は出来ない為、新規柱を立てる





げんかん

現状の鴨居に貼ってあった板を捲ると3本溝が出て来た為、現在の敷居は当初材ではなく改修時の物となった為、新規に作る





わき げんかん

柱足元が腐っている為根継ぎを行う



わき げんかん

悪い所の土を落とした所、化粧貫が出て来た為、壁を捲る



わき げんかん

土壁を捲る
化粧貫がきれいに出る
抜き差し出しで壁を仕上げる



ざしき

ざしきの不陸直し
床を捲り不陸直す



ちゃのま

膨れ落ちかけた壁を慎重に
捲り下地を出す。
竹下地ではなく、葦下地で
編みである。補足・補強を
入れ下地を直す。



ちゃのま

貫の位置にはグラスメッ
シュシートで補強をして貫
伏せにする





だしき

塗り重ねられた仕上げ壁を捲り取ると、塗装のような厚みの紺色が出る



ぶつま

ぶつまからも同じく濃紺が出ましたが、今回の塗りは厚みが在り左官による仕上げで、その下が当初と成り、中塗りあ上げだったと分かる。



ぶつま脇玄関

本来、外部だった所を囲い玄関にしたため、見返しに漆喰跡が出た為漆喰で仕上げる。





どま

中塗り仕上げ



台所兼食事室

中塗り仕上げ



台所兼食事室

中塗り仕上げ



台所兼食事室

中塗り仕上げ



げんかん

中塗り仕上げ



つぎのま

四国化成

けいそうジュラックス土壁

No.308





つし

荒壁仕上げ



板壁

つし窓

障子は直し障子紙の代わりにワーロン紙を貼る
痕跡より板壁復元



外部

焼き板戻し

